

# 武部配水池

大村市上下水道局 電話0957-53-1116

## 【水道事業の成り立ち】

水道創設前の大村町一帯は、多くの家庭が井戸水、かんがい用水、雨水を利用していました。これらの多くは水質的な問題を抱え、飲料水としては衛生的に好ましくない状況でした。

県内においては長崎市など主要な都市において、大正中期から上水道が創設されはじめ、大村の住民にとっても近代的な上水道の整備は切実な願いでした。このことから、大正13年（1924年）に当時の大村町及び西大村の一部を対象とした上水道事業を計画し、昭和3年に計画給水人口10,000人、計画給水量1,200m<sup>3</sup>/日で事業が完成しました。

この当時、上水道事業として最初に建設された施設が「**武部配水池**」です。総事業費約13万円（当時の金額）を投資した結果、長崎市、佐世保市、平戸市、富江町（現五島市）に次いで昭和3年（1928年）3月3日に給水を開始しました。武部配水池は、大村市水道事業創設当時の歴史ある施設です。

この配水池を本市水道の貴重な歴史的遺産として後世に残すために、休憩施設等の整備を行いました。

## 【配水池の概要】

- 所在地 : 大村市武部町178番地
- 敷地面積 : 1,686.04 m<sup>2</sup> (約510坪)
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 容量 : 500 m<sup>3</sup> (有効水深3.2m)
- 供給方式 : 自然流下
- 竣工 : 昭和3年(1928年)

## 【武部配水池構造図】

